チーム紹介

RICOH
imagine. change.

チーム名：**セクシーゴリラ**

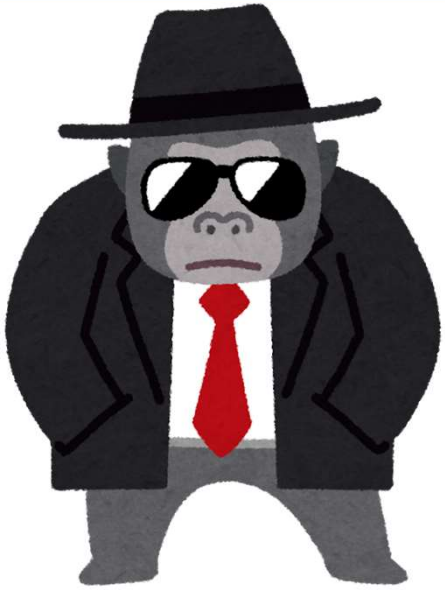
コンセプト

大きな問題も楽しく、
クールに、セクシーに解決!

熱意とチームワークで初めてテスコンに挑戦します！
伝統的なテスト技術を尊重しつつも新しいものに刺激を求め、日々スキルアップを目指すテストエンジニアの集まりです。

チームメンバー

齋藤：テストマネージャ
松田・狩野：テストアナリスト
坂下・芳本・増子：テストエンジニア



© Ricoh IT Solutions Co., Ltd. 2020

背景と目的

RICOH
imagine. change.

■ セクシーゴリラが目指す検証

検証によってソフトウェアの付加価値を生み出せること、
検証されたソフトウェアを利用したユーザーが製品の価値を実感でき、
満足する結果を生み出せること

■ そのために日頃心がけていること

- ユーザーの多様な課題・ニーズを正しく理解する！
- ソフトウェアが課題・ニーズの解決する能力があるか、利用にあった品質レベルを達成しているかを的確に検証する！

■ 背景

ASTER社の依頼により、社内向けのテスト管理ツールQualityForwardに対して、弊社テストチームが**社外利用を想定した**ユーザー視点でのテスト設計を行うこととなった。

実現したい事

テストマネジメントを行うにあたり、想定される多様なユーザーニーズ／ウォンツをQualityForwardが実現できるかをテストで示す

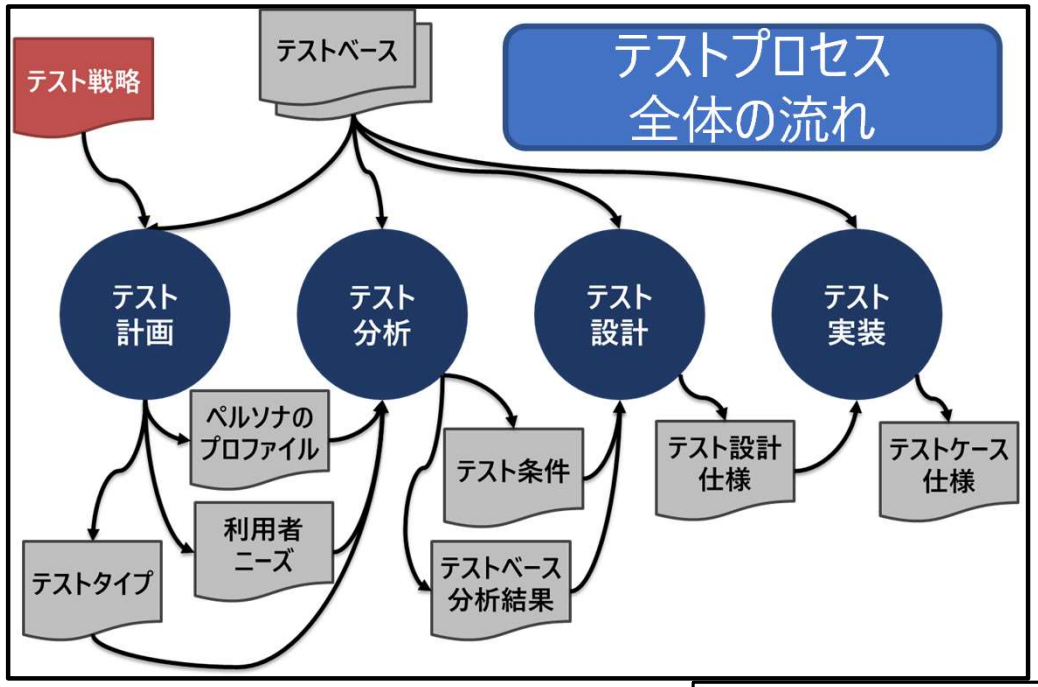
■ テストの目的

- 顕在化していない利用者ニーズを明確にする
- ソフトウェアが要求される品質レベルを満たしているかを検証する
- 利用者ニーズの達成を阻害する仕様の改善ポイントを明確にする

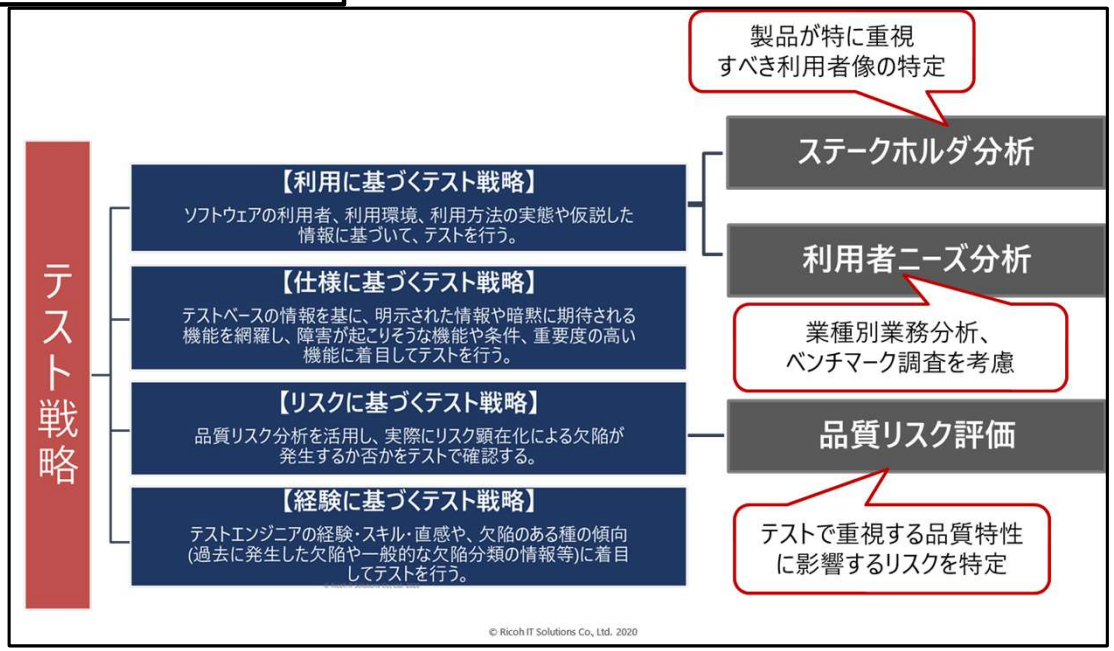
© Ricoh IT Solutions Co., Ltd. 2020

テスト戦略と全体テストプロセス

RICOH imagine. change.



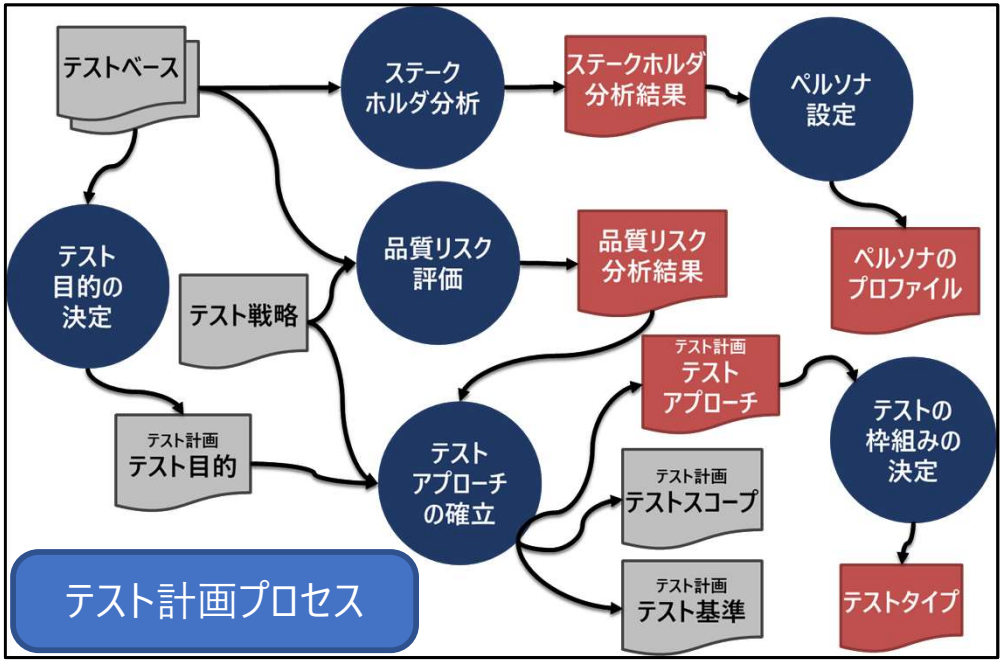
特徴：
「ペルソナのプロファイリング」
「利用者ニーズ」
をテスト分析に活用していること



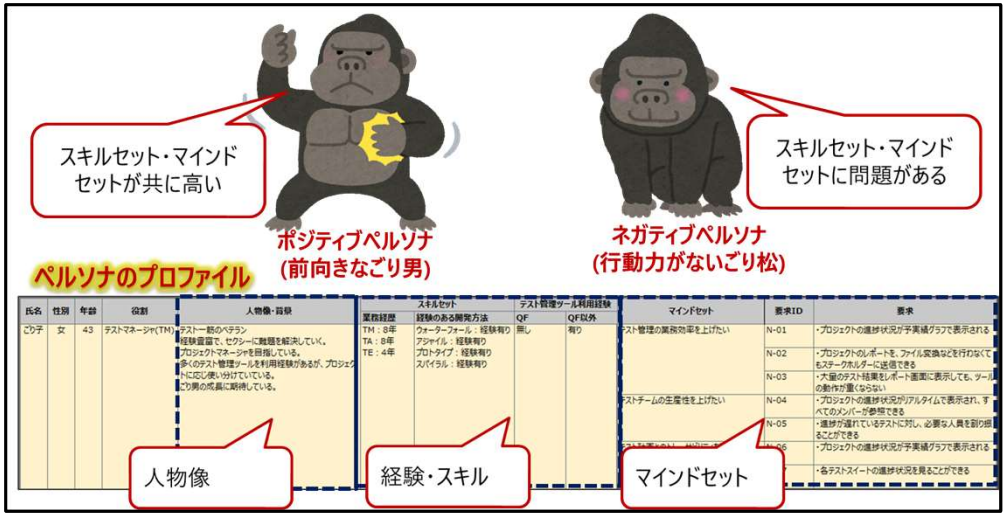
© Ricoh IT Solutions Co., Ltd. 2020

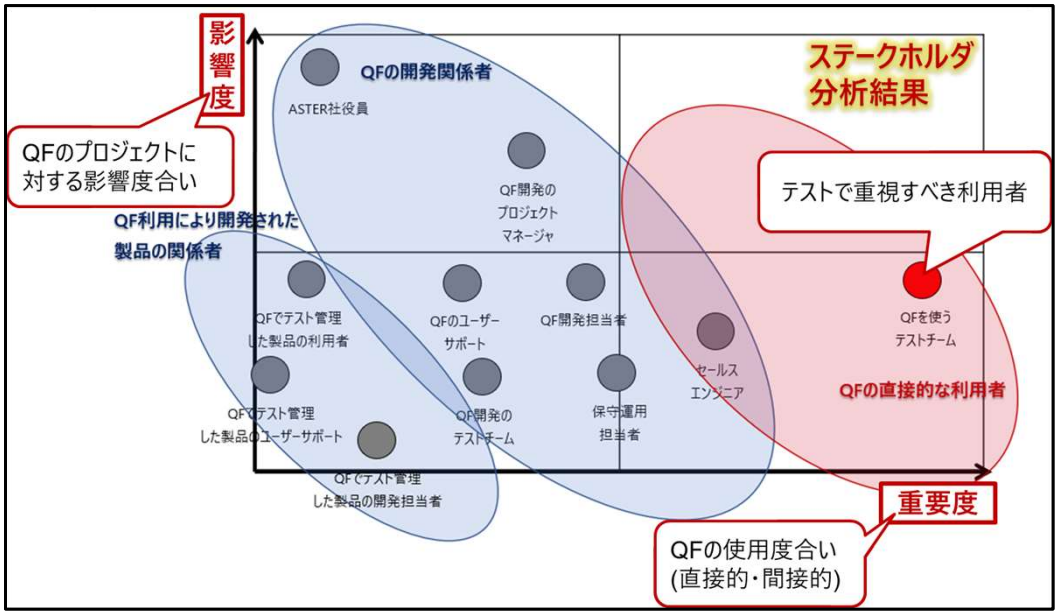
テスト計画プロセス

RICOH
imagine. change.



工夫点：
「ペルソナ」を
「重要度」x「影響度」で
分析することで、
重視すべき利用者を選定

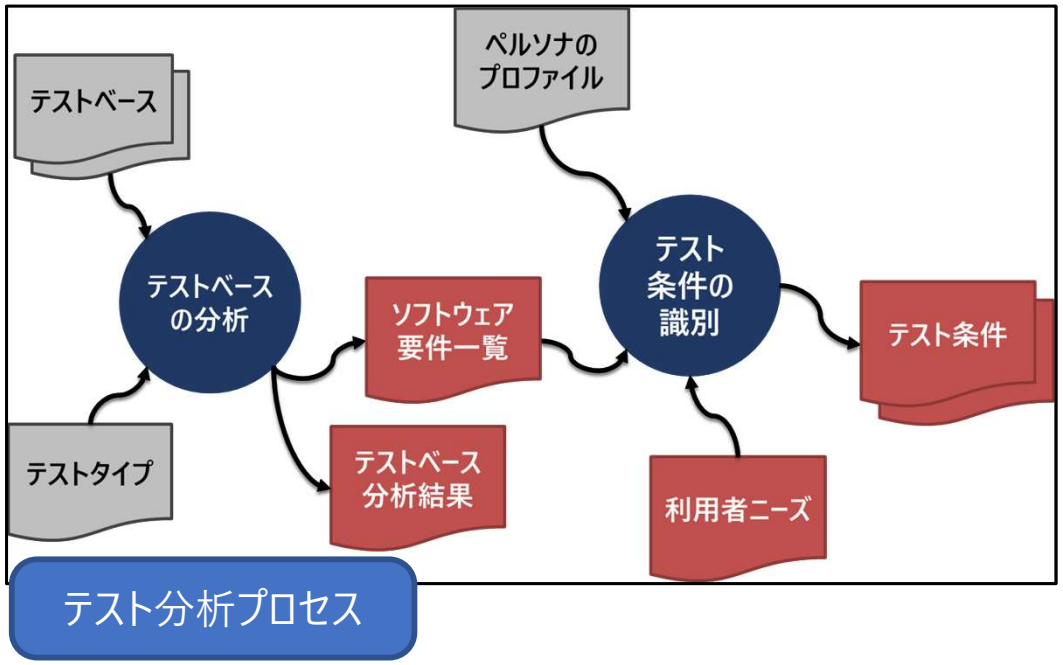


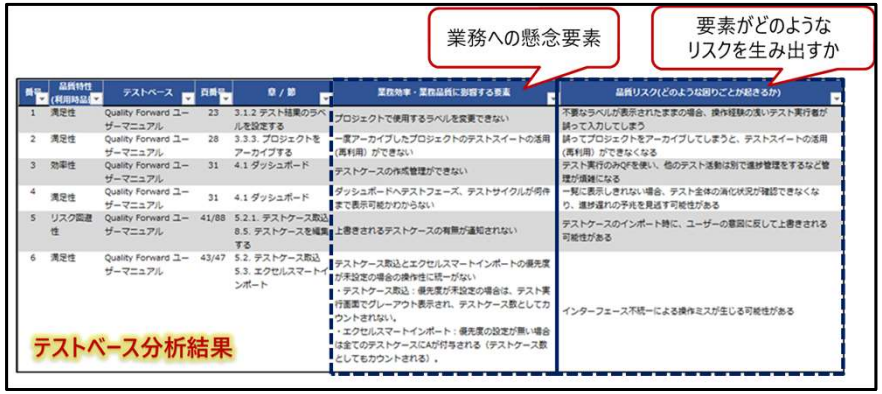


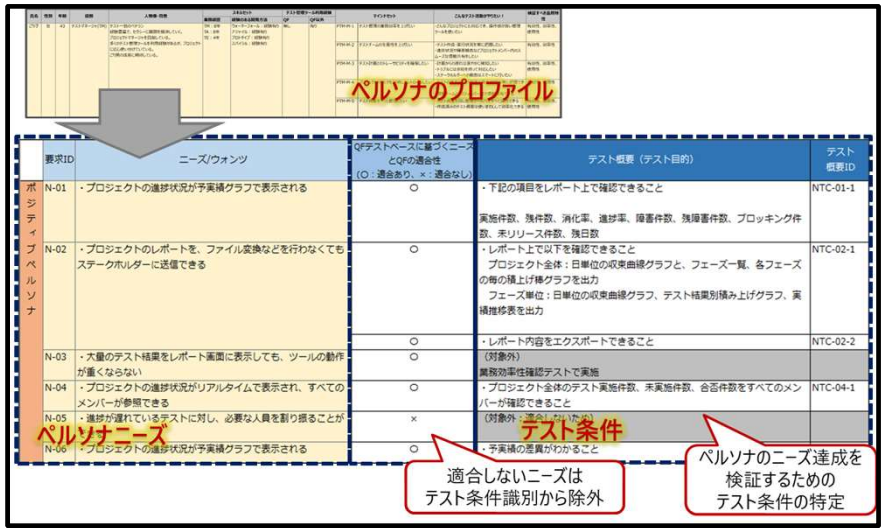
© Ricoh IT Solutions Co., Ltd. 2020

テスト分析プロセス

RICOH imagine. change.



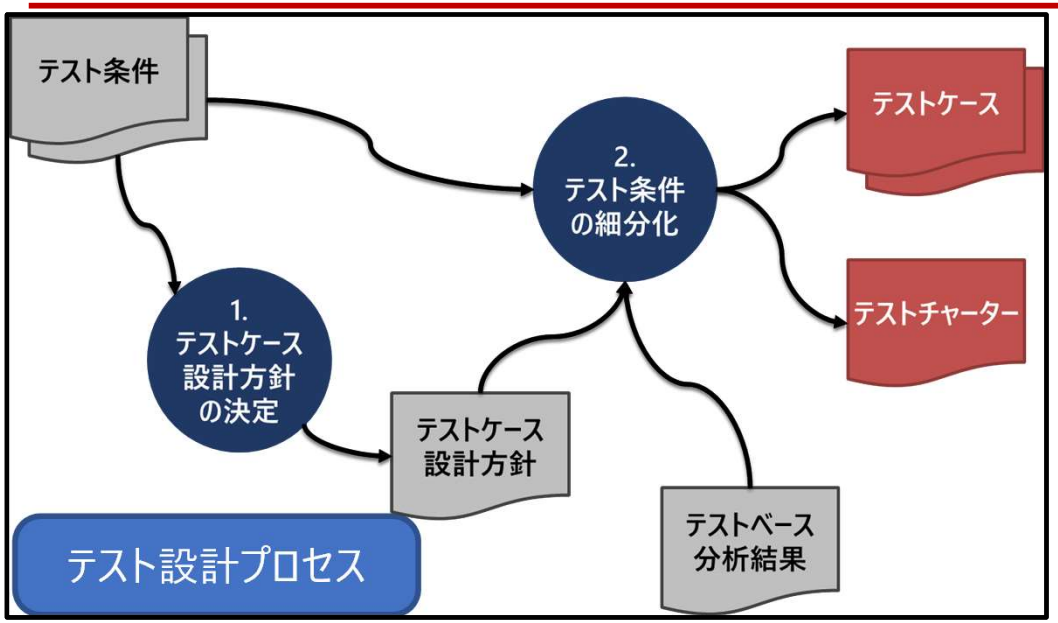




特徴：
「ペルソナのプロファイリング」を
テスト分析に活用することで
テストエンジニアの真のニーズを
テスト条件に組み込む

© Ricoh IT Solutions Co., Ltd. 2020

テスト設計プロセス



特徴：
テストの目的に合わせ段階的に詳細化

ユーザビリティテスト

要求ID	ニーズ/ウォンツ	テストケースID	ユーザー	テスト目的（確認したい事）	前提条件	テストシナリオ	判定基準
	【5.テスト実行を管理する】						
N5-1	テストケースの割り振りを適宜行いたい			・各テストフェーズにテストスイートを登録できること	テストスイートが作成されていること	・テストフェーズ作成時に、テスト	テストフェーズ毎に必要なテスト

テストケース

機能テスト

要求ID	ソフトウェアの要求	テスト条件ID	テスト概要（テスト目的）
F1	ユーザーからのサインイン要求に対して、アカウントの状態と権限をチェックしサインイン処理を行う	PTC1-1	有効な状態のアカウントでQFにサインインできることを確認する
		PTC1-2	無効な状態のアカウントでQFにサインインできないことを確認する
F2	ユーザーからのパスワード再設定要求に対して、再設定メールを登録されたメールアドレス宛に送信する	PTC2-1	パス にメ

テストケース

テストケースID	手順		
	準備	詳細	期待結果
PTC1-1-1	メールアドレス招待の承認済アカウントを用意	メールアドレスとパスワードを入力してサインインボタンを押す	ログインに成功し、プロジェクト一覧画面が表示されること
PTC1-1-2	メールアドレス招待の未承認アカウントを用意	メールアドレスとパスワードを入力してサインインボタンを押す	ログイン画面にログインエラーが表示されること

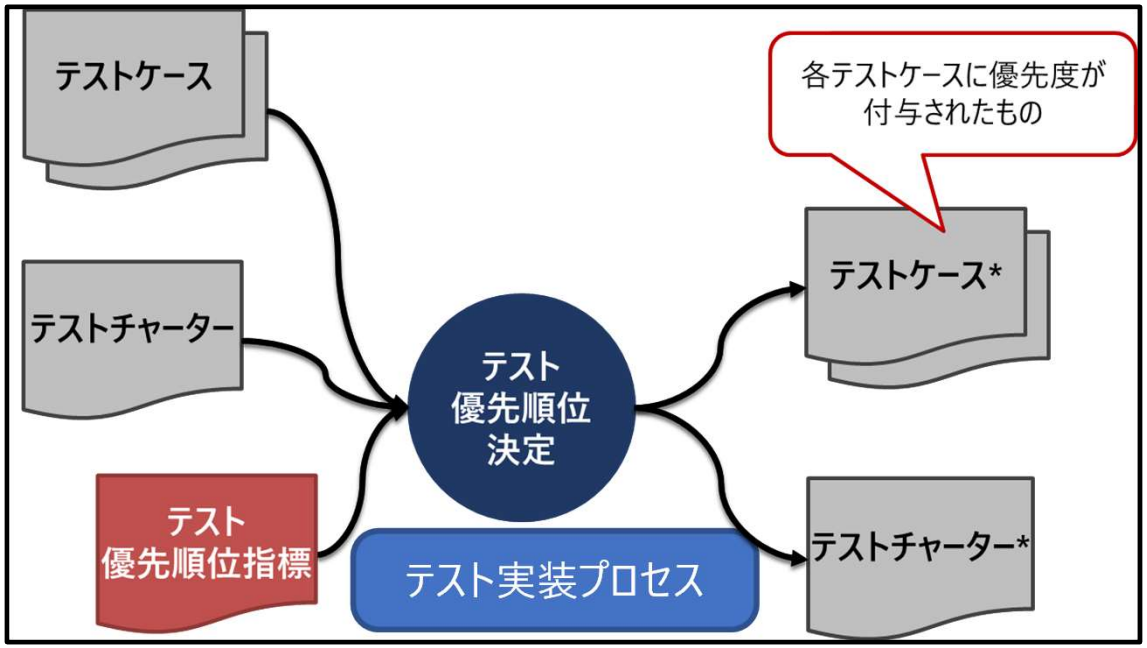
業務効率性確認テスト

アプローチ	ID	検証対象				
		機能名	サブ機能	テストの目的	事前準備	判定基準
表示処理・データ処理・画面遷移	TC1	ユーザー管理	テナント切り替え	プロジェクトに大量のデータ（大量のユーザ、テストサイクルなど）があるテナントに切り替えたとき、切り替え完了まで時間がかからないことを確認する	複数のテナントにプロジェクトデータがある状態	・切り替え操作後、テナントのトップ画面の表示完了まで5秒以内 ・表示に時間がかかる場合、プログレスバーなどで完了までの進捗が表示されること
	TC2	進捗管理	ダッシュボードの表示	大量のテストフェーズ、テストサイクルがある状態で、ダッシュボードに遷移したときに表示完了まで時間がかからないことを確認する	以下の情報がダッシュボードに表示される状態 ・実施中のテストフェーズ ・最近完了したテストフェーズ ・実施中のテストサイクル ・レビュー待ちのテストサイクル ・最近完了したテストサイクル	・プロジェクト選択後、ダッシュボードの表示完了まで5秒以内 ・表示に時間がかかる場合、プログレスバーなどで完了までの進捗が表示されること
	TC3	テストケースの管理	カバレッジパネルの表示	カバレッジパネルの集計対象の項目が大量にある状態で、カバレッジパネルに遷移したときに表示完了まで時間がかからないことを確認する	テストスイートにカバレッジパネルの集計対象項目が設定済み ・テストスイートの各行に異なった文量を入力する	テストスイートのカバレッジパネル表示を選択後、カバレッジパネルの表示完了まで5秒以内 ・表示に時間がかかる場合、プログレスバーなどで完了までの進捗が表示されること

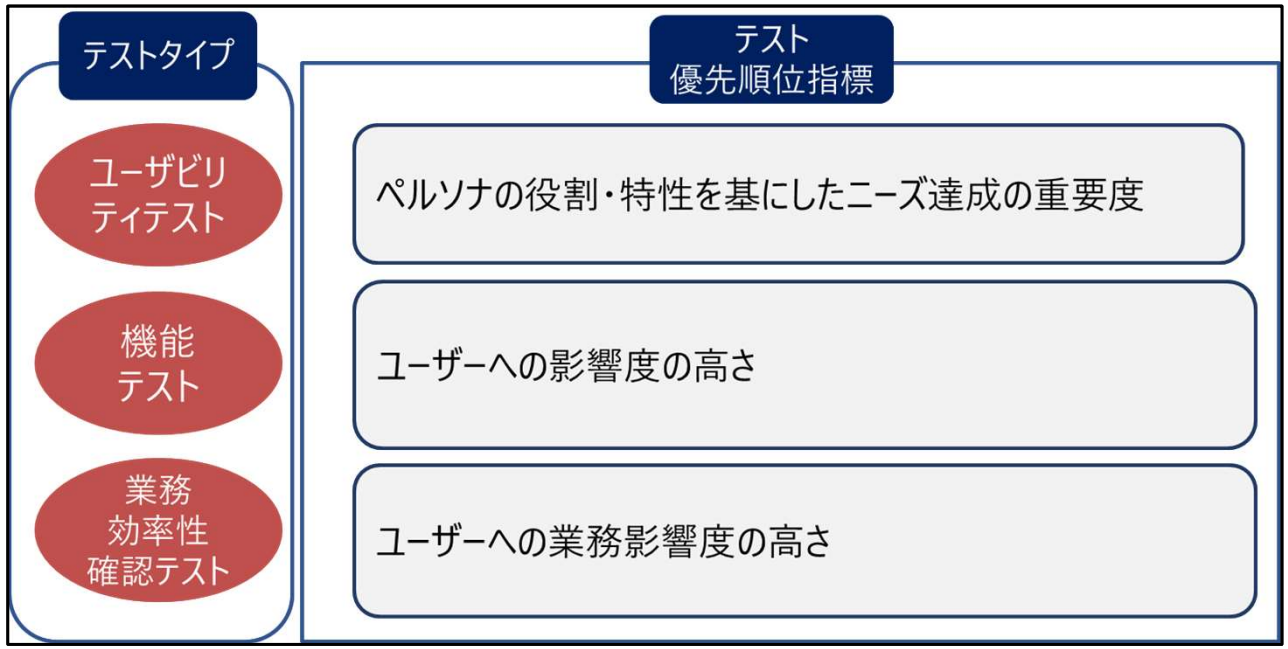
テストチャーター

© Ricoh IT Solutions Co., Ltd. 2020

テスト実装プロセス



特徴：
テストタイプごとに
テスト優先順位を指標化



© Ricoh IT Solutions Co., Ltd. 2020

まとめ

RICOH
imagine. change.

テストの目的

- 顕在化していない利用者ニーズを明確にする
- ソフトウェアが要求される品質レベルを満たしているかを検証する
- 利用者ニーズの達成を阻害する仕様の改善ポイントを明確にする

テスト設計の結果

- スキルセット・マインドセットの多様なペルソナを用いたユーザビリティテストを実現した
- ソフトウェア要求を網羅的に抽出し、要求の達成状況を判断できる機能テストを実現した
- テスト技術者の直感と経験に基づく、テストベースに対するヒューリスティック調査、業務効率性確認テストを実現した

© Ricoh IT Solutions Co., Ltd. 2020